

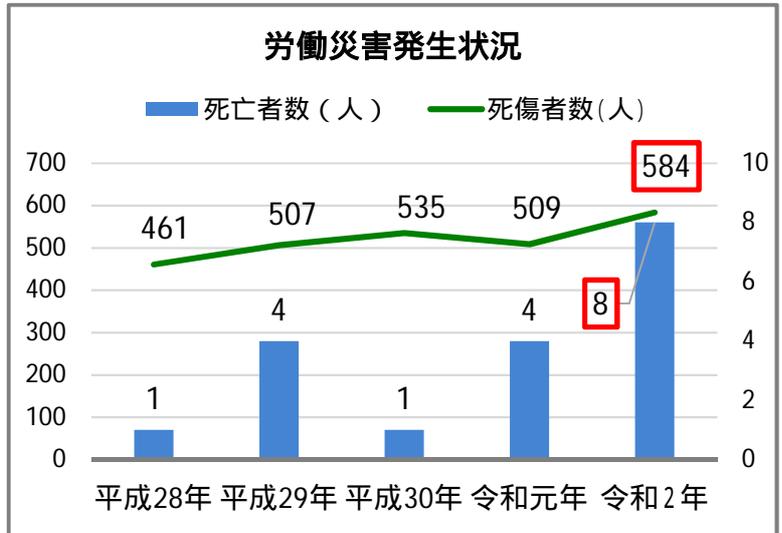
鳥取県内の労働災害発生状況

～ 令和2年労働災害は大幅に増加！ ～

労働災害発生状況

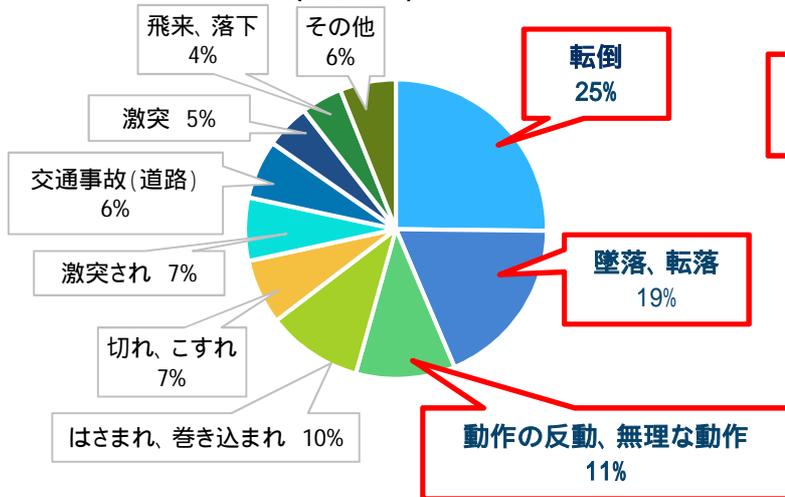
令和2年に、鳥取県内において、労働災害により4日以上休業した労働者（被災者）は584人となっており、前年と比較し**75人（14.7%）の大幅な増加**となりました。

また、亡くなられた労働者は**8名**と、過去5年間で最も多くなっています。

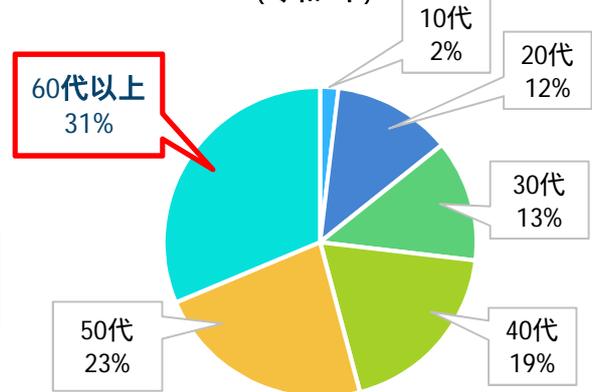


災害としては「**転倒災害**」147人、「**墜落・転落災害**」108人、「**動作の反動、無理な動作**」62人の順で、この3つで災害全体の**約55%**を占めています。また、被災者のうち**60歳以上が約3割**となっています。

事故の型別労働災害発生状況 (令和2年)



年齢別労働災害発生状況 (令和2年)



転倒災害事例

業種	災害発生状況	年齢	休業見込
製造業	商品確認のため移動中、通路横にあった棚につまづいて転倒した。	50歳代	4か月
小売業	バックヤードから売場に戻ろうとした間、足元のコードに引っかかり転倒した。	60歳代	2か月
保健衛生業	書類提出のため駐車場の車から事務所へ歩き出した時、地面が凍っており転倒した。	60歳代	2か月

墜落、転倒災害事例

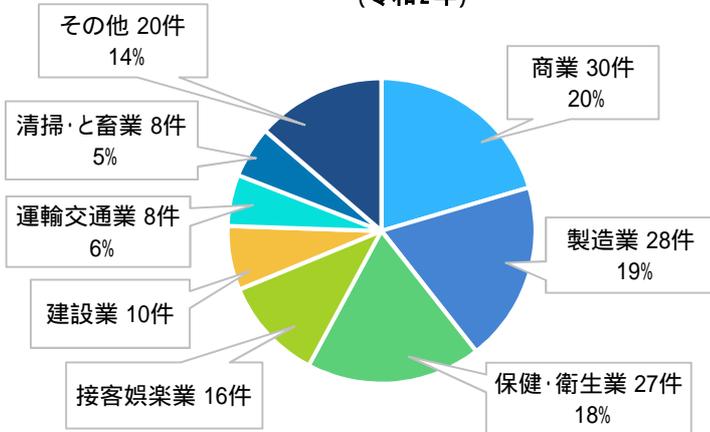
業種	災害発生状況	年齢	休業見込
製造業	コンテナ屋上部を掃除した後、はしごで降りる際に、はしご床部が滑ってコンテナから外れ、はしごと共に墜落した。	60歳代	2か月
商業	看板設置のため、商品を置く台の上に低い脚立を載せて上がったところ、脚立が滑ってバランスを崩し墜落した。	40歳代	3週間
保健衛生業	棚の上の物をとるため、パイプ椅子に上がり手を伸ばしたところ、バランスを崩して墜落した。	60歳代	4週間

裏面へ

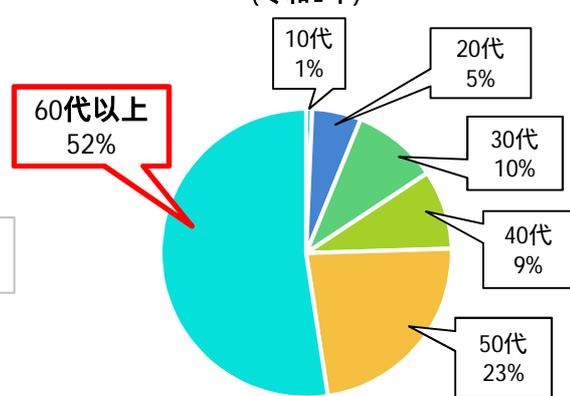
災害の特徴

転倒災害は、業種では「保険、衛生業」、「製造業」、「商業」の順で多く発生しています。また、被災者の半数以上が60歳以上であり、特に60歳代以上は52%を占めています。

転倒 業種別災害発生状況
(令和2年)

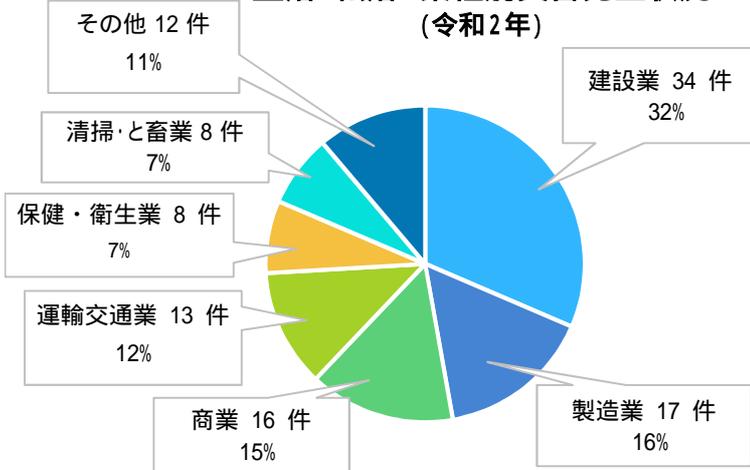


転倒 年齢別災害発生状況
(令和2年)

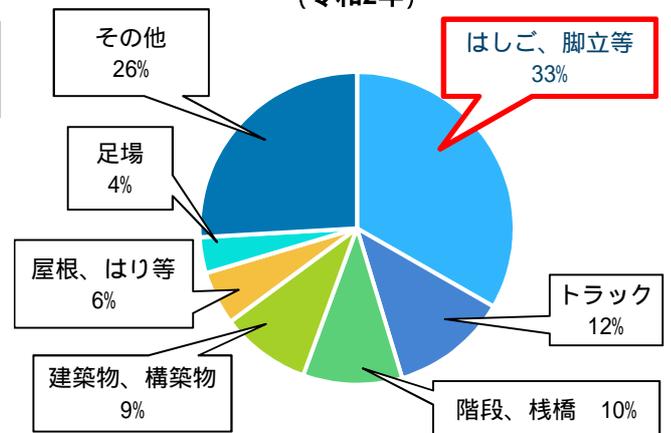


墜落・転落災害は、「建設業」のほか、「製造業」、「商業」、「運輸交通業」などでも多く発生しており、はしごや脚立などからの転落が全体の30%以上を占めています。

墜落・転落 業種別災害発生状況
(令和2年)



墜落・転落 起因物別災害発生状況
(令和2年)



令和2年には県内で労働災害が大きく増加しました。また、死亡災害により8名の労働者が尊い命を失っています。

被災者の多い「転倒災害」、「墜落・転落災害」は業種を問わず発生しており、60歳以上の被災者割合が高くなっています。下記を参考に積極的な取組を実施しましょう。

厚生労働省及び鳥取労働局のホームページには、下記のほか各種リーフレット、資料を掲載しています。活用ください。

- ・STOP! 転倒災害プロジェクト
- ・はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう!
- ・エイジフレンドリーガイドライン(高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策「5つのポイント」